

9/25

2025年第1534号

(毎月5、15、25日発行)

大阪府歯科保険医協会
会 武
行 和
人 田
大 阪 市 浪 速 区 幸 町 2-2-20 4階
電 話 (06) 6568-7731 (代 表)
http://osk-hok.org/
● 定 価・年 間 10,000 円 月 1,000 円
● 1977年5月23日第三種郵便物認可

「大幅な引き上げ望む」署名に声続々

緊急財政措置と診療報酬大幅引き上げ求め 署名始まる



自由意見欄には、物価高騰や人件費に対応できるような診療報酬改定を引き上げるべきだという声が相次いだ。▼物価上昇と給与アップにリンクした改定を!!▼材料費、人件費その他の値上げが大きく、収入が増えない。限界だ▼現状では産休、育休に入っているスタッフを元の給料に戻すことが出来なくなった。物価上昇、診療報酬の改定のため減収し、法を守って戻すことが困難であり、早急な対応を求めます▼

物価上昇や給与への対応を求める声

協会は9月6日に開催した第6回理事会で、保団連が提起した「地域の医療機関を守るため、緊急財政措置と診療報酬の大幅引き上げを求める歯科医師要請署名」に取り組みすることとした。9月15日付機関紙で署名を同封し、小澤力理事長が会員から過半数の協力をお願いする旨、呼びかけた。FAXの返信で続々と意見が寄せられている。自由意見欄の声を抜粋して紹介したい。

機械・材料費等の高騰に、診療報酬が追いついていない。大幅な引き上げを望みます。

改定内容の不合理さに対する抗議

2024年診療報酬改定は技術に対する本質的な評価ではなく、ベースアップ評価料や医療DX加算など、これまでにない

物価上昇と給与アップにリンクした改定を!!

大阪府歯科保険医協会 FAX:06-6568-0564

2025年9月吉日

内閣総理大臣 殿
厚生労働大臣 殿
財務大臣 殿
国会議員 各位

大阪府歯科保険医協会
理事長 小澤 力

地域の医療機関を守るため、緊急財政措置と
診療報酬の大幅引き上げを求める歯科医師要請署名

一、基本診療料を中心に診療報酬の期中改定や、国の責任による補助金等での緊急財政措置を早急に行うこと
一、2026年診療報酬改定で、基本診療料を中心に少なくとも10%以上の大幅な引き上げを行うこと
一、患者窓口負担を大幅に軽減すること

以上

2026年度診療報酬改定に向け、9月10日に中医協総会が開かれ、「歯科医療その1」が事務局から示された。今回の論点を解説する。

1. 障害者歯科は専門機関への評価を検討
2. 口腔機能の管理等、生活の質に配慮した歯科医療

では、「口腔保健センター」など、障害者歯科治療専門の医療機関への受診を推進するとして、専門歯科医療機関への医学的管理に対する評価が検討課題となった。

政策部による改定解説

い概念が持ち込まれた。こうしたことに対する批判の声も強い。▼初・再診料に色々含まれ過ぎて

いる。技術料をもっと評価して欲しい▼ベースアップ評価料は廃止すべき。初再診料で上げるべき。各医院の経営状態でベースアップできるかが決まるのになぜ国が介入?それを患者が負担するのはおかしくないか。同一内容の治療は同一料金が原則ではないのか!▼2年に1度の診療報酬の改定は煩雑なルールが増えるばかりで実質の引き上げはありませぬ。診療のための設備、消費税、感染予防、人件費等々経費が膨大です。そういう費用を含めた診療報酬を考えると欲しいです▼診療とは違う事に時間をと

られすぎる。診療時間が削られる結果となっている▼中途半端に新しい材料や方法に点数を設けるのではなく根治やP治療など基本的な治療の点数の底上げをして欲しい。あと、条件いろいろつけて加算でプラス改定のように見せかけるのはやめてほしいですね。もうすでにどここの医療機関も限界をとり越しているのではないのでしょうか。

1次締切9月末、2次締切10月25日

中医協でも診療報酬改定に向けた議論が進められている。協会は厚労省交渉や国会議員への要請も強めているが、会員からの署名数と声が非常に重要になる。

署名は10月30日に東京で開かれる歯科決起集会

有床義歯では、総義歯と部分床義歯を対比し、構造や形態は多種多様で新製時の確認・指導事項が装置や装着部位によって異なるとして、実態に

中医協

歯科で6つの論点

応じた評価に改定することとを示した。

また、スライド資料では、学会の診断基準で口腔機能低下症や口腔機能不全症に該当する患者でも、口腔機能管理料

と国会議員要請を節目に、1次締め切りを9月末、2次締切を10月25日で取り組み、改定率が決まるまで継続する。

署名用紙は9月15日付機関紙に同封
署名用紙は、9月15日付機関紙に同封したほ

医療へ予算を

街頭宣伝で役員訴え

協会も参加している大阪社会保険推進協議会が9月4日、京橋駅前街頭宣伝に取り組んだ。協会から、同会

病院団体、三師会も

医療予算の拡大について、各方面から声

「病院赤字や診療所つぶしを許さない、患者が安心して受診できるよう医療提供体制を守る」



訴える齋賀理事9月4日、京橋駅前

か、左上のQRコードからもネット署名が可能になっている。

を握り、「いま国民に必要なのは、命を奪う軍拡予算ではなく、命を守る医療や社会保障費ではないのか」と訴えた。

それに相当する補助を早急に行うことを求める」などと要望している。これらの動きは協会が取り組む「緊急財政措置と診療報酬大幅引き上げを求める」歯科医師署名、「保険で良い歯科医療の実現を求める」患者署名と目的を軌を一にしている。多方面から声を上げることが医療費予算の確保実現への鍵を握る。

3. へき地等歯科医療での巡回診療車の活用
へき地などの歯科医療では、自治体などと連携した巡回診療車を用いた巡回診療の評価が課

5. 歯科衛生士・歯科技工士の定着・確保
口腔機能指導加算や歯科技工士連携加算など、

学印象などの適応拡大や評価を課題に挙げた。

4. 多職種連携について
医科歯科連携で周術期や回復期の口腔機能管理を推進する。また、前回の改定で医科点数表に糖尿病

6. デジタル化等
価格に左右される歯科用金属材料を用いずにデジタル技術を用いた推進

獲得に必要な小児保険装置の算定が少なくないことを指摘。関連して歯科矯正への適切な説明など、質の担保が必要だと問題提起している。

歯科衛生士・歯科技工士の業務の評価を課題に挙げた。

「国庫負担増で給付拡大と負担軽減を」の世論づくりが必要である。

歯界

認知症患者の様子を支える家族を映し出す鏡になっていると言われている。

家族が優しく寄り添う姿勢で支援すると認知症患者も穏やかになってくるが、家族に厳しく叱責され、常に注意されると情緒不安定になり徘徊行動が増えるとのことだ。

しかし、献身的に介護しても罵声を浴びたり、何度も繰り返し聞かれることで、介護者が精神的に疲弊し、寄り添う気持ちの余裕が無くなる場合もあるだろう。

介護生活に行き詰まった家族を責めるのはあまりに酷である。認知症患者への配慮以上に家族への支援が大事である。

時間的、経済的余裕ができてこそ、理想的な介護に繋がるのではないだろうか。

しかし、政府は社会保障費の増大による財政圧迫の危機感を煽り、公助を減らし自助を求め、家族依存型の介護を助長している。社会的弱者を犠牲にする自己責任論ではなく、社会保障を重視した政策に舵を切って欲しいものだ。

(N)

事務所を移転しました。

M&Dホールは変わりません。
★協会事務所は
〒556-0021 大阪市浪速区幸町2-2-20 清光ビル4階
※「桜川」駅⑤出口すぐ
★電話番号に変更はありません。